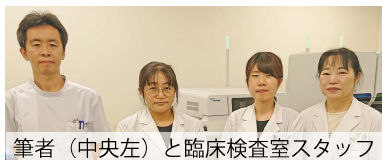


臨床検査室システム更新



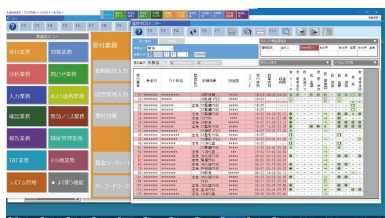
臨床検査室 主任
松澤 仁美

筆者（中央左）と臨床検査室スタッフ

2020年9月、臨床検査システムの更新が行われ、より迅速で正確な検査を行うべく日々努力しております。

臨床検査システムでは、電子カルテから医師の検査オーダーを受け取り、必要なバーコードラベルを発行する事から始まり、21台の検査機器と通信、測定、結果値の管理などを行っています。検査技師が確認後、電子カルテに結果を送信することで各診察場に検査結果が届きます。今回の更新作業は、採血から検査開始までの煩雑な作業の簡略化、結果確認作業の効率的かつ誤報告を防ぐシステムづくりを目指しました。

今後、待ち時間短縮、当日結果が出る項目を増やしていく等、患者さんに喜んでいただけるよう新システムを活用してまいります。コロナ感染対策を行いながらの更新作業となり、思うように進まず焦りもありましたが、ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



※新システム イメージ

医療安全週間の取り組み

医療安全管理者 高岡 恵

毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間は「医療安全推進週間」に定められています。「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環として、2001年に開始されました。医療機関や医療関係団体における取り組みの推進を図り、これらの方策について国民の理解や認識を深めてもらうことを目的としています。

松山市民病院では「医療安全推進週間」の活動として、2017年から医療安全に関する標語を全職員から募集しています。今年度は様々な職種からのスタッフから349作品の応募があり、そのうち1作品が愛媛県看護協会で、3作品が院内で表彰されました。今回選ばれたのは、どれもチーム医療をテーマにした「職員が患者の安全を守る」という主旨の作品でした。

今後も安心・安全な医療を提供するために、標語に込められた思いを含め、医療安全対策に取り組んでまいります。



左：2020年度医療安全推進賞 受賞

『私たち職種は違えど" ONE TEAM" 共に守ろう患者の安全』
手術センター 林 裕美

画像センター装置更新の紹介 第2回 X線CT装置

放射線室 主任補 診療放射線技師 高須賀 弘喜

2020年秋号より連載3回の機会をいただき、今号で2回目になります。更新した2台のX線CT装置の1台目の紹介です。

西日本初導入! 次世代のX線CT: Dual Energy-CT

今年度更新を行ったGEヘルスケアジャパン社製CTの上位モデル「Revolution Frontier」(以下フロンティア)です。

フロンティアは通常のX線CTの検査はもちろん、特殊な撮影方法により、通常のCT画像の他、様々な情報を得られる新しいX線CT装置です。その新しい撮影方法、Dual Energy撮影は2種類の異なるエネルギーのX線を使用します。

この2種類のX線により大きなメリットと新しい情報が生まれます。

☆大きなメリット☆

ヨード造影剤を静脈に注入して行う造影CT検査での使用造影剤量や注入速度を全体的に減らすことが可能になった点

☆その他のメリット☆

- ・熱感による不快感を減少
- ・血管外への造影剤漏れのリスク減少(痛みの軽減)
- ・腎臓への負担軽減

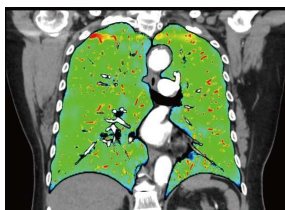
☆放射線量の低減について☆

新規に更新を行った2台のCTは高機能の画像処理ソフトが内蔵されており、撮影に必要な線量を減らしても、診断に必要な画質を確保できるようになっております。

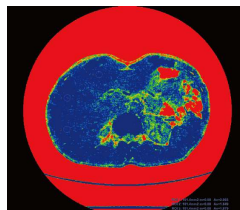
Dual Energyでの撮影は今後も進化していく領域です。当画像センターでも最新情報を基に、患者さんに還元していきたいと考えています。

今回は更新を行ったX線CT「Revolution Frontier」の紹介をさせていただきました。第3回は、2台目のCT「Revolution EVO」とCT画像を使用し、診断の補助画像の作成等を行うワークステーションの紹介をします。

Dual Energy撮影で出来る事例



◎ヨード造影剤注入による肺血流の評価



◎肝臓に含有されている脂肪量の測定



◎骨髓内の出血浮腫の描出